



特集 いろんな経験が成長につながる

子ども会に入ろうよ!

子ども会を知っていますか？子ども会は季節の祭りやスポーツ大会、自然教室など、さまざまな活動を行っています。こうした活動は、普段の生活の中だけではなかなか体験することができません。子ども会は、子どもの健やかな成長の礎となるばかりでなく、活動を

支える大人たちや地域などのつながりを得ることができます。子ども会に加入して、地域の仲間と一緒に活動し、子どもも大人も一緒に成長してみませんか。

綾瀬市子ども会育成連絡協議会事務局(青少年課内)
☎70・5655

異年齢の仲間が交流 社会性を育む機会に

子ども会は、同じ地域に住む0歳児～高校3年生の子どもたちで構成されています。遊びやレクリエーション、スポーツ、キャンプ、社会奉仕などの活動をとおり、異なる年齢の仲間が交流していて、社会の一員として必要な知識、技能、態度を身に付ける絶好の機会となっています。

子どもたちの力だけでは限界がある部分については、保護者で構成される「子ども会育成会」が活動を側面から支え、小学5年生～高校生で構成されるボランティアの「ジュニアリーダー」が行事を盛り上げることで、より充実した活動としています。さらには「綾瀬市子ども会育成連絡協議会」(市子連)が地域の子ども会育成会のパイプ役となり、行事の計画・実施、研修会などの企画・運営を行っています。

保護者同士の交流 自らの成長の場に

子ども会は、子ども同士の異年齢交流だけでなく、加入している保護者同士の交流も深めます。

さまざまな年齢の子を持つ保護者との交流により、子育ての悩みを相談したり、知恵や工夫を共有したりすることができます。子育て経験者との会話は、保護者が学び、成長する場にもなります。保護者間に信頼関係が生まれることで、困ったときに助け合うこともできます。



地域の方にも協力してもらっています

子どもたちの良き理解者 ジュニアリーダー

同リーダーとは、主に子ども会の運営や活動を手伝う、ボランティアの小学5年生～高校生です。「子どもの手による子ども会」活動の推進役として、子どもと大人をつなぐパイプ役となり活躍しています。困っているときにはアドバイスをしたり、励ましたり、子どもたちの良き理解者にもなっています。

同リーダーとしての活動や手伝いを希望する方は、同事務局へ連絡してください。



たき火で焼いた芋はおいしいね

子ども会の行事

卒業記念親子ボウリング大会

3月には、小学6年生を対象にしたボウリング大会があります

新春スポーツ大会

寒い冬のスポーツ大会。子ども大人もドッチビーなどを楽しみます

宝箱チャレンジ

夏には城山公園で宝箱チャレンジ。ゲームに挑戦して宝箱を開けよう

ワンパクシールがもらえます!

子ども会で1年間活動すると、同シール3枚がもらえます。わんぱくプラザ対象事業でも同シールを集めることができ、集めた枚数に応じてメダルがもらえます。

春 新入会員歓迎会、遠足、公園清掃など

夏 ラジオ体操、キャンプ、花火大会、流しそうめん、老人ホーム訪問など

秋 防災訓練、ハロウィン、芋掘り、スポーツ大会など

冬 クリスマス会、餅つき、工作教室、どんと焼き、お別れ会など

宝箱チャレンジ

ゲームは全部、市子連の手作りです。やってみると意外に難しい?

宝箱チャレンジ

市子連会長とじゃんけん対決。子どもたちはみんな真剣です

結成50年

綾瀬市子ども会育成連絡協議会(市子連)は、昭和46年に発足し、今年で結成50周年を迎えます。

市子連は、全市的視野から子ども会育成のための協同研究や、市内子ども会育成会相互の連絡協調と関係団体との連携を図ることを目的として発足しました。

大人同士の交流の場にもなっています



市子連会長 星野 敏雄さん

地域の子ども会のバーベキューに参加したことが、同会に関わるきっかけでした。子どもたちと一緒にしゃぎ大人に叱られたこと、同会に関わった子どもが立派な社会人になりあいさつをしてくれたことは、良い思い出です。また、同会活動とおし、市内外に同世代の人脈を広げられました。子どもの創造力は無限大です。異年齢活動が主体の同会では、遊びという体験とおし、表現力、リーダーシップ、優しさ、手加減などが自然と身に付くものと確信しています。

これからも、多くの大人が育成者として、子どもたちに携わって成長を見届けられる環境作りにまい進いたします。

子どもたちを元気づけられる存在に



JLC of あやせ会長 星 陽向さん

友達とケンカをして泣いていたとき、ジュニアリーダーのお姉さんになくさめてもらい、自分も子どもたちを元気づけられる存在になりたいと思い入会しました。お手伝い先で、チーム対抗のゲームで負け、落ち込んでいる子に声を掛けたら、次のゲームが始まる前には笑顔になってくれたときは、活動してよかったと思いました。現在は人が集まることが難しいですが、地域の方々の役に立ちたいなどの思いを胸に、イベントの再開時に、多くの場所で活躍できるよう、レクリエーションの強化などを行っています!